

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社 な と り
 コード番号 2922

上場取引所 東

URL <http://www.natori.co.jp/>

代表者（役職名）

代表取締役会長兼社長（氏名）名取 三郎

問合せ先責任者（役職名）

取締役常務執行役員（氏名）小林 眞

TEL (03) 5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 平成24年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,339	3.5	639	59.5	646	58.3	376	78.8
24年3月期第2四半期	15,791	0.7	400	△53.1	408	△51.9	210	△50.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 356百万円 (58.8%) 24年3月期第2四半期 224百万円 (△44.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	26.10	—
24年3月期第2四半期	14.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	27,700	15,640	56.5
24年3月期	27,829	15,385	55.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,640百万円 24年3月期 15,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	33,500	1.4	1,495	2.0	1,500	2.2	835	0.7	57.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 () 除外 一社 () : 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	15,032,209株	24年3月期	15,032,209株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	619,770株	24年3月期	619,770株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	14,412,439株	24年3月期2Q	14,412,489株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
【四半期連結損益計算書】	8
【四半期連結包括利益計算書】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報等.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
5. 補足情報.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間においては、欧州の財政危機を巡る不確実性が依然として高い中で、中国をはじめとした新興国も一時期の勢いがなく、世界の景気は全体として減速感が広がっています。日本の景気の先行きが不透明なことから、国内における消費は、依然として節約志向による低価格商品への要請が根強くあり、おおむね横ばいとなっているものの足許で弱い動きもあります。

食品業界では、原材料価格が高い水準にあり、お客様のご要望の多様化や市場のボーダレス化が進んでいます。また、食品に対する安全・安心への関心も高い状況です。

この様な状況下、当社グループは、企業メッセージ「ひとつまみの幸せ。」を掲げ、楽しさを演出する、美味しい“おつまみ”を通してお客様に“幸せ”なひとときをお届けする為、全社一丸となって取り組んでまいりました。

販売面においては、取引先における更なるシェア拡大に努めると共に、春夏新製品の導入を積極的に進めました。また、発売 30 周年を迎えた「チーズ鱈」をご愛顧頂いている皆様への感謝の気持ちとして、4 月より実施していた「ひとつまみの幸せプレゼントキャンペーン」を 9 月月末で終了しました。多くのお客様からご応募いただき、当社の「チーズ鱈」がお客様にご支持頂いていることを改めて実感いたしました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高 163 億 39 百万円（前年同四半期比 3.5% 増）、営業利益 6 億 39 百万円（同 59.5% 増）、経常利益 6 億 46 百万円（同 58.3% 増）、四半期純利益 3 億 76 百万円（同 78.8% 増）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

期 別 区 分		前第 2 四半期 〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕		当第 2 四半期 〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
食品製造販売事業	水産加工製品	8,178	51.8	8,072	49.4	△105	△1.3
	畜肉加工製品	1,979	12.5	2,149	13.1	170	8.6
	酪農加工製品	2,639	16.7	2,797	17.1	158	6.0
	農産加工製品	438	2.8	454	2.8	16	3.7
	おつまみスナック製品	14	0.1	93	0.6	78	550.1
	小物菓子製品	236	1.5	221	1.4	△14	△6.3
	素材菓子製品	689	4.4	843	5.2	153	22.3
	チルド製品	119	0.7	177	1.1	58	48.5
	その他製品	1,352	8.6	1,381	8.4	28	2.1
	計	15,647	99.1	16,192	99.1	544	3.5
不動産賃貸事業計		143	0.9	147	0.9	3	2.6
売上高合計		15,791	100.0	16,339	100.0	547	3.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、いか製品については前年実績を確保しましたが、茎わかめが原料事情で拡販出来なかったことなど、いか以外の製品で売上を落としたことにより減収となりました。畜肉加工製品は、新製品「THE おつまみ BEEF」や、大袋製品のニーズが高いエリアにおいて積極的に導入を進めた「THE おつまみ BEEF お徳用」が好調に推移し、「贅沢おつまみコース」、新製品「南イタリアの美味しいサラミ マンマの味」、夏季限定製品「塩だれ味ビーフジャーキー」なども売上に貢献し増収となりました。酪農加工製品は、チーズ鱈 30 周年キャンペーンの効果もあり、「チーズ好きが食べるおいしいチーズ鱈」などのチーズ鱈製品が大きく売上を伸ばし増収となりました。農産加工製品は、新たな素材「茎レタス」を使用した新製品「シャッキリ茎レタス中華味」の売上が貢献し増収となりました。おつまみスナック製品は、新製品「GARIBARI こんがりバターしょうゆ味」、新製品「GARIBARI ソルト&レモン味」などが貢献し増収となりました。小物菓子製品は新製品を投入出来ず減収となりました。素材菓子製品は、つぶ塩が付いた新食感の新製品

「つぶ塩梅」や、新製品「ベジシャキ茎レタス 梅味」、「コリッと茎わかめ 梅味」も好調に推移し増収となりました。チルド製品は、クリームチーズをふんだんに使用し、生クリームを混ぜることでさらにやわらかく、とろけるようななめらかな食感に仕上げた「くちどけチーズたら 生クリーム」などが売上を伸ばし増収となりました。その他製品は、「おつまみセレクション」などのアソート製品が売上を伸ばし増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は 161 億 92 百万円（同 3.5%増）となりました。

利益面では、原料高騰の影響を受けて上昇した原料調達コストへの対応として、前述の売上増や、積極的な設備の導入などによる生産性の向上に努め、売上総利益は 54 億 12 百万円（同 4.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、「ひとつまみの幸せプレゼントキャンペーン」の開始に合わせて実施したテレビ CM などでは広告宣伝費が増加したものの、継続的なコストコントロールと業務の無駄とりに努めたことなどにより、48 億 41 百万円（同 0.4%増）に抑えることが出来ました。

この結果、営業利益は 5 億 70 百万円（同 62.6%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は 1 億 47 百万円（同 2.6%増）、営業利益は 68 百万円（同 38.0%増）となりました。

		前第 2 四半期 〔自平成23年4月1日〕 〔至平成23年9月30日〕		当第 2 四半期 〔自平成24年4月1日〕 〔至平成24年9月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連	売上高	15,791	100.0	16,339	100.0	547	3.5
	売上総利益	5,223	33.1	5,481	33.5	257	4.9
結	販管費	4,822	30.6	4,841	29.6	19	0.4
	営業利益	400	2.5	639	3.9	238	59.5
	経常利益	408	2.6	646	4.0	238	58.3
	第 2 四半期純利益	210	1.3	376	2.3	165	78.8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の連結総資産は 277 億円（前連結会計年度末比 1 億 29 百万円減）となりました。

資産の部では、現金及び預金、原材料及び貯蔵品などが増加しておりますが、受取手形及び売掛金、商品及び製品、建物及び構築物などの減少により総資産が減少いたしました。

負債の部では、未払金、未払消費税等が増加しておりますが、支払手形及び買掛金、長期借入金などの減少により負債合計は 120 億 59 百万円（同 3 億 85 百万円減）、純資産の部では利益剰余金の増加により純資産合計は 156 億 40 百万円（同 2 億 55 百万円増）となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比 1.2 ポイント増の 56.5%となっております。

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、21 億 3 百万円（前連結会計年度末比 6 億 57 百万円増）となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、12 億 15 百万円の収入（前年同四半期は 3 億 41 百万円の支出）となりました。主に、仕入債務が 3 億 80 百万円減少しておりますが、税金等調整前四半期純利益が 6 億 49 百万円と前年同四半期比増益となり、また非資金損益項目であります減価償却費が 4 億 11 百万円、引当金が 1 億 37 百万円増加、売上債権が 3 億 61 百万円減少、たな卸資産が 88 百万円減少となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、85 百万円の支出（前年同四半期は 2 億 39 百万円の支出）

欄)となり (2922) 平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信
 となりました。主に、投資有価証券の売却による収入が 84 百万円ありましたが、工場における生産
 設備の導入等、有形固定資産の取得による支出が 1 億 46 百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4 億 72 百万円の支出 (前年同四半期は 2 億 94 百万円の支
 出) となりました。主に、長期借入金の返済が 3 億 35 百万円、配当金の支払額が 1 億円となったこ
 と等によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成 23 年 3 月期 第 2 四半期	平成 24 年 3 月期 第 2 四半期	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期
自己資本比率 (%)	59.0	60.5	56.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	46.2	49.9	44.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	239.0	—	436.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	80.0	—	70.4

(注) 自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値 × 期末発行済株式数 (自己株式控除後) により算出しています。

※ 「—」表示は、値がマイナスであることを表しています。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、平成 24 年 5 月 11 日に公表いたしました連結業績
 予想から変更はございません。

なお、配当につきましては、第 2 四半期配当 7 円 50 銭 (前期 7 円)、期末配当予想 7 円 50 銭 (前
 期 7 円) とさせて頂いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 653 千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,738,660	2,396,212
受取手形及び売掛金	※2 5,720,339	※2 5,358,358
商品及び製品	759,662	579,277
仕掛品	659,925	572,637
原材料及び貯蔵品	3,223,638	3,402,315
その他	392,408	292,776
貸倒引当金	△1,238	△671
流動資産合計	12,493,395	12,600,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,447,353	7,229,429
土地	5,126,753	5,127,704
その他（純額）	1,495,407	1,513,603
有形固定資産合計	14,069,514	13,870,737
無形固定資産	153,774	148,949
投資その他の資産	※1 1,113,298	※1 1,079,449
固定資産合計	15,336,588	15,099,136
資産合計	27,829,983	27,700,044

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 3,837,116	※2 3,329,534
短期借入金	3,379,000	3,429,000
1年内返済予定の長期借入金	1,274,468	996,928
未払法人税等	282,945	291,679
賞与引当金	292,231	399,190
役員賞与引当金	19,000	11,000
その他	※2 1,629,567	※2 1,836,249
流動負債合計	10,714,329	10,293,582
固定負債		
長期借入金	236,224	178,030
退職給付引当金	287,569	300,846
役員退職慰労引当金	464,585	489,960
資産除去債務	4,798	4,798
その他	737,193	792,085
固定負債合計	1,730,370	1,765,721
負債合計	12,444,700	12,059,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	11,587,148	11,862,367
自己株式	△509,132	△509,132
株主資本合計	15,344,064	15,619,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,218	21,457
その他の包括利益累計額合計	41,218	21,457
純資産合計	15,385,283	15,640,741
負債純資産合計	27,829,983	27,700,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)
売上高	15,791,689	16,339,524
売上原価	10,568,298	10,858,508
売上総利益	5,223,390	5,481,015
販売費及び一般管理費	※1 4,822,616	※1 4,841,656
営業利益	400,774	639,359
営業外収益		
受取配当金	9,506	9,575
受取賃貸料	14,663	14,503
その他	19,764	17,248
営業外収益合計	43,934	41,326
営業外費用		
支払利息	17,390	17,227
賃貸費用	18,729	16,698
営業外費用合計	36,119	33,925
経常利益	408,589	646,760
特別利益		
固定資産売却益	415	210
投資有価証券売却益	—	64,234
特別利益合計	415	64,445
特別損失		
固定資産除却損	845	61,508
投資有価証券評価損	13,312	—
特別損失合計	14,158	61,508
税金等調整前四半期純利益	394,846	649,697
法人税等	184,540	273,591
少数株主損益調整前四半期純利益	210,306	376,106
四半期純利益	210,306	376,106

【四半期連結包括利益計算書】
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	210,306	376,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,155	△19,761
その他の包括利益合計	14,155	△19,761
四半期包括利益	224,461	356,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,461	356,344
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	394,846	649,697
減価償却費	427,339	411,409
負ののれん償却額	△3,609	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△326	△540
賞与引当金の増減額 (△は減少)	122,602	106,958
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,000	△8,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	25,450	25,375
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,232	13,276
受取利息及び受取配当金	△9,579	△9,619
支払利息	17,390	17,227
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△64,234
固定資産売却損益 (△は益)	△415	△210
固定資産除却損	845	61,508
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,312	—
売上債権の増減額 (△は増加)	210,099	361,952
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△586,256	88,995
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,918	△380,798
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△105,934	77,839
その他	△604,656	132,644
小計	△4,741	1,483,480
利息及び配当金の受取額	9,835	9,619
利息の支払額	△16,666	△17,253
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△330,132	△260,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	△341,704	1,215,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	80,000	—
有形固定資産の取得による支出	△292,948	△146,131
有形固定資産の売却による収入	1,250	2,071
投資有価証券の取得による支出	△16,071	△16,760
投資有価証券の売却による収入	—	84,800
その他	△11,366	△9,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,137	△85,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△335,734	△335,734
自己株式の取得による支出	△56	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△57,496	△85,962
配当金の支払額	△101,159	△100,675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,446	△472,372
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△875,288	657,552
現金及び現金同等物の期首残高	1,389,094	1,445,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	*1 513,806	*1 2,103,167

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	15,647,985	143,703	15,791,689	—	15,791,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,647,985	143,703	15,791,689	—	15,791,689
セグメント利益	351,110	49,664	400,774	—	400,774

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第 2 四半期連累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	16,192,124	147,399	16,339,524	—	16,339,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,192,124	147,399	16,339,524	—	16,339,524
セグメント利益	570,823	68,535	639,359	—	639,359

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第 2 四半期連結累計期間の「食品製造販売事業」のセグメント利益が 653 千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成 24 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 24 年 9 月 30 日)
投資その他の資産	12,582 千円	12,608 千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
なお、当第 2 四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成 24 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 24 年 9 月 30 日)
受取手形	5,716 千円	6,983 千円
支払手形	152,390 千円	98,178 千円
その他(設備関係支払手形)	4,620 千円	682 千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)
販売促進費	1,169,743 千円	1,199,147 千円
給料及び手当	1,289,115 千円	1,257,065 千円
賞与引当金繰入額	247,735 千円	222,328 千円
役員賞与引当金繰入額	9,900 千円	10,050 千円
退職給付費用	39,467 千円	36,631 千円
役員退職慰労引当金繰入額	33,775 千円	33,400 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 9 月 30 日)
現金及び預金勘定	806,850 千円	2,396,212 千円
預入期間が 3 カ月を超える定期預金	△293,044 千円	△293,045 千円
現金及び現金同等物	513,806 千円	2,103,167 千円